

令和2年度 学校評価（最終報告）

愛知県立豊橋工業高等学校 定時制課程

1 学校評価の年間計画

- (1) 4月当初に本年度の重点目標を決定する。
- (2) 本年度の重点目標をもとに、4月中旬までに各分掌で課題別評価シートを作成する。（重点目標及び具体的対策や留意事項を決定する。）
- (3) 9月に中間評価として、課題別評価シートに基づく評価活動を実施。（問題の明確化と改善策の検討）
- (4) 1月に年度末評価として、課題別評価シートに基づく評価活動を実施。（反省と改善策の検討）次年度の課題及び目標を決定する。
- (5) 定期的に学校評価委員会を開催する。（外部評価の内容・方法等の検討）
- (6) 学期に1回、学校関係者評価委員会を開催し、学校評価の取組状況に対しての意見や校内見学、視察による意見聴取をするなど、積極的に意見を求める。
- (7) 学校評価の取組結果は、PTEA総会、PTEA委員会・役員会、ホームページ等で公開する。
- (8) 研究授業等を推進し、分かりやすい授業への取組を推進する。

2 本年度の学校評価

本年度の重点目標	①基礎学力の向上を図り、基礎から応用につながる指導を強化する。②社会人として通用する人間教育に全力であたる。③コミュニケーション能力の向上につながる方策を実践する。		
項目（担当）	重点目標	具体的な方策	最終報告と今後の課題
生徒指導 （生徒指導部）	<ul style="list-style-type: none"> ・刃川をつけた基本的生活習慣の確立 ・社会人となるための基礎的モラルやマナーの体得 ・規則遵守と自ら考え、行動できる生徒の育成 ・交通安全意識の涵養 ・いじめのない学校生活の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ST等・授業への時間厳守の徹底させる ・規則を理解させ、頭髪服装指導の実施及び集会等での礼法指導を徹底する。 ・正しい行動選択をできるように予防的支援を行う ・交通安全講話を実施し、安全意識の高揚をはかる ・他者との関わり方について、集会等を活用し考える機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から遅刻者に対して、段階的な指導を取り入れた。その結果、遅れずに登校する生徒が増え、生徒自身の意識が学校に向き、特別指導になるような問題行動も減少した。 ・頭髪に関しては担任と連携をし、段階的な指導を行っている。きちんと生徒に規律を理解させ、今後は生徒が自ら考えて相談し、行動が出来るようにしていく。 ・生徒の登校時に教員が挨拶をすることで、生徒自身も挨拶をする行動が確立されてきた。しかし、歩きスマホが散見されるため、スマホの取り扱いのマナーについて指導していく。
学習指導 （教務部）	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた学習環境を整える ・学習意欲を高める ・基礎学力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材準備の徹底とそれに対する指導を行う。 ・業前業後の学習会、考査前学習指導期間の活用、居残り指導や個別指導の充実。 ・復習や反復学習、学び直しの時間（機会）を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から実習・実技科目で開始した忘れ物の回数に応じた段階的な指導については、生徒に周知したこともあり例年よりも忘れ物が減り、授業への取り組む準備ができていた。 ・業前業後の学習会では、一部の生徒に対して担任と連携をしながら実施をした。外国籍の生徒に関してはポケットクを活用して一部理解が進んだこともあり、来年度も活用していきたい。
就労及び進路指導 （進路指導部）	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の推進 ・進路相談支援の推進 ・自立意識と職業観の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育に関する講話を実施する。 ・進学支援を実施する。 ・進路希望調査を実施し、個々の進路への意識を高める。 ・企業訪問を実施する。 ・地域の支援施設と連携を図る。 	<p>今年度は、新型コロナウイルスの影響で、企業訪問は郵送で対応した。その影響で夏休みが短くなったため、夏休み中の就職指導ができず、二学期に入ってから就職指導を行ったものの、指導の時間がなかなか取れず、進捗状況は良くなかったが、他の先生方の協力もあり、何とか指導を乗り切ることができ、就職希望者については100%と就職内定を頂いている。来年度もその影響に合わせた就職指導を継続して行っていきたい。</p>
保健指導 （保健部）	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の身の回りに起こる問題を早期発見する ・身体の健康の支援 ・進路指導の際の、生徒の心の問題に対するサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ不登校対策委員会」を開催することによって、生徒相談に関わる情報を共有する。 ・定期健康診断で受診勧告を出した生徒の受診率向上を図る。 ・外部機関や進路指導部と連携をし、生徒にとって適当なアルバイト先や、就職先を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ不登校対策委員会では、生徒情報を積極的に交換し、生徒への適切な声掛けにつなげることができた。 ・未受診の生徒に対して、粘り強く指導した。受診率が令和元年度は10%であったが、今年度は26%に向上した。 ・今年度は、対象生徒がおらず、外部機関へ相談することはなかった。
PTEA活動 （総務部）	<ul style="list-style-type: none"> ・PTEA活動の推進 ・学校教育活動に対する理解を深める ・防災に対する意識の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTEA総会や役員・委員会を実施し連携を深める。 ・保護者懇談会を実施する ・激甚災害に向け、防災訓練を充実させ、情報を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は感染拡大対策のため、PTEA総会や役員会・委員会が開催できなかった。来年度の状況にもよるが、PTEA総会や保護者懇談会を通して生徒の活動を伝えられるように取り組んでいきたい。 ・地震・火災等の非常時に即した避難方法を訓練として実施した。また訓練以外にも、防災についての知識を深めるために、防災講話を実施した。今後も防災についての知識や情報を生徒に発信していきたい。
専門教育 （機械科）	<ul style="list-style-type: none"> ・安全意識を高く持ち、実習を行えるようにする。 ・社会で通用する技術技能を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全作業を徹底し、実習態度を改善する。 ・専門教科や実習を通じて機械の扱い方や知識を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全作業の重要性を徹底し、実習に望む態度が向上しているか確認している。確認事項は「実習に望む態度ができて」「時間を守る」「話を聞く姿勢ができて」の3つである。意識づけを高く持たせ、今後も継続実施していく。 ・機械の扱い方に関しては、実際に工作機械や工具を扱う時間を多く取り、工作機械を安全に取り扱える知識を蓄えさせた。今後は高い技術の習得にも力を入れたい。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立 ・進路指導の充実 		